

三谷地区
かわら版
第5号

三谷地区
まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

将来の三谷地区と公共施設の姿について、皆さまとともに考えています。

蒲郡市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため、「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで昨年度、三谷地区にある公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来のあり方について、皆さまに考えていただく機会として、「三谷地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催してきました。

3月10日(日) 三谷公民館にて最終回となる第5回ワークショップを開催しました。その内容を中心にこれまでいただいたご意見等をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われてきた内容についてご意見を引き続き募集しています。「ご意見募集」をご覧ください。

検討の進め方

蒲郡市は、このワークショップをはじめ、広く地区の皆さまからいただいたご意見を反映させた、三谷地区の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」を策定します。下図のように段階的に検討を進めてきました。第5回ワークショップでは、施設の再配置プラン案を比較しながらどの案が地区の将来の姿としてふさわしいかについて話し合い、施設の再配置を考える際に運営面等で配慮しなければならない事項（付帯事項）についても意見を出し合いました。

進め方の
確認

地区の課題の
抽出

施設再配置
プランの検討

施設再配置
プランの比較

三谷地区
個別計画の策定

第5回ワークショップ 3月10日(日)開催

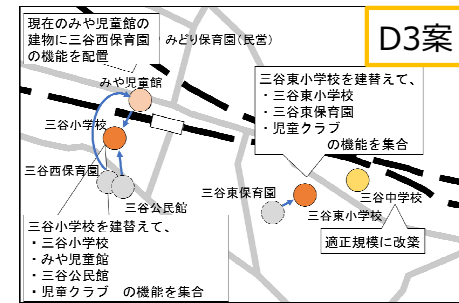
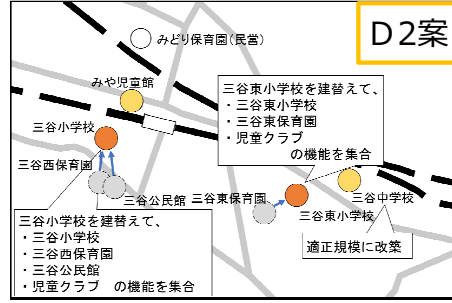
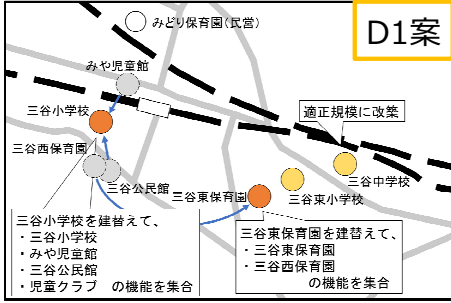
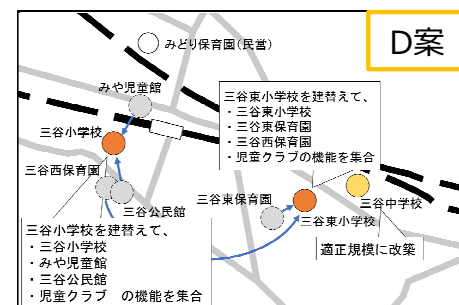
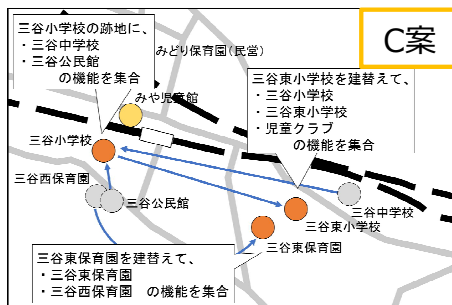
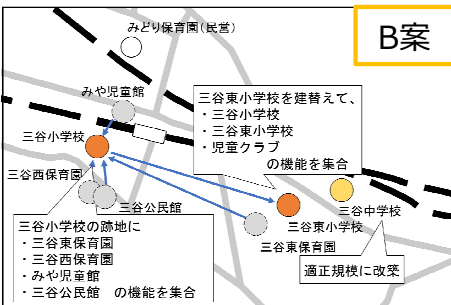
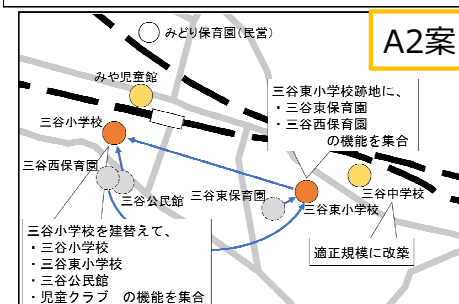
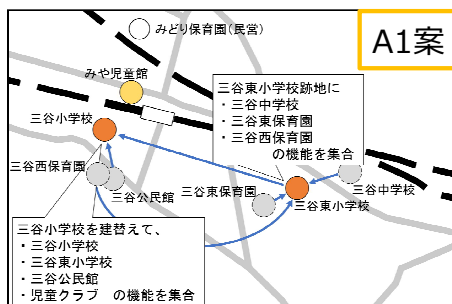
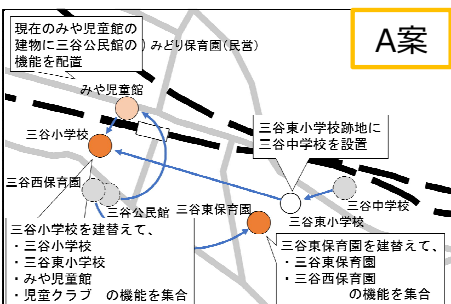
これまでのワークショップの検討を踏まえ、将来の三谷地区の公共施設の配置としてふさわしい案について話し合いました。



地区内の小中学校・保育園・児童館・公民館の配置や活用方法を定めます。

9つの再配置プラン案の比較検討

ワークショップでは、地区内の課題や将来の姿について話し合い、それらを元に事務局が作成した9つの再配置プラン案を検討の対象としてきました。



ワークショップの中でいただいた皆さまの想い

ワークショップでは、地区の課題やその解決方法、三谷地区の将来について話し合いを行ってきました。第5回ワークショップでは、これまでの検討を踏まえ、将来の公共施設の配置としてふさわしい案を検討していただきました。全5回のワークショップで地区の皆さまからいただいた、三谷地区に関する様々なご意見を以下にまとめました。

子育て

学校規模について

- 競争心を生み学力レベルを上げることや部活動の選択肢を増やすことを考えると、学校の児童生徒数は多い方がよいと思う。

子どもの居場所

- 三谷東小学校の児童クラブは学校内にあるが、三谷小学校の児童クラブはみや児童館にある。子どもの放課後の居場所として、小学校をもっと活用してほしい。
- 共働きの家庭が多いので、放課後も安心して子どもが過ごせる場所が必要だ。空き教室などを活用した放課後の活動場所をつくれば、親のニーズに応えられ、地区内の子どもの数も増えるのではないか。
- 児童クラブが学校の中にできると安全・安心なのでよい。

送迎の利便性

- 保育園の送迎は車でしている人がほとんどなので、駐車場が充実している方が利便性は高いと思う。

通学の利便性

- 学校を統合するのならば、子ども達の通学が不便にならないよう対策を練ってほしい。

- 三谷小学校は地区の中心にあるので立地がよく、歴史も古くて地域の象徴的な位置づけだ。

- 三谷祭の伝統や風習を背景にした三谷のコミュニティを今後も守っていききたい。一旦馴染めば良好な関係が築ける土地柄なので、地域コミュニティの形成や主体的な活動が促進されるような計画となるとよい。

- 西区では一部竹島小学校に通っている子ども達がいるので、地区住民としての意識が低下し、地区の一体感が欠けてきているように思う。

地区の まとめ

三谷西保育園の安全な場所への移転

- 三谷西保育園は海に近くて災害の危険性が高いので、安全な立地に移転すべきではないか。

安全

防災

- 三谷地区は海に近いので、津波や強風などの災害による被害も心配だ。

防犯

- 学校や保育園と公民館を同じ敷地内に整備すると、不特定多数の人の出入りがあるので防犯面が心配だ。防犯カメラの設置やソフト面の対策を行い、セキュリティ強化をする必要がある。

- 小学校と保育園を1つの敷地にすると、園児と児童が干渉しあうことによる危険性や騒音、送迎の車との事故が心配だ。

世代間交流

- 高齢者と子どもが使う施設を集合させ、空間のつくり方を工夫してお互いがゆるやかにつながるようになると良い。
- 学校を小さな子どもから高齢者まで多世代が交流できるような施設にできるとよい。

同世代の交流

- 子育て層が自分達の趣味などに利用できる場や子ども達の居場所など同世代が利用できる場、交流できる場が必要だ。

- 1つの施設が様々な機能を持つことで、利用者が多様化し、利用率のアップや多世代の交流の創出などのメリットが生まれると思う。

交流

居場所作り

- 放課後の子ども達の居場所、デイサービス以外の比較的元気な高齢者のための施設、中高生のための学習スペースのある図書館などが地区にあるとよい。

駐車場の確保

- 施設へのアクセスには車が多いので、いずれの案でも施設までの道路の整備や十分な駐車場の確保が必要である。

利用しやすい施設づくり

- 公民館は誰でも利用できる施設だが、いつも同じような団体が利用しているので、若い層が気兼ねなく利用できるような運営システムを導入してほしい。
- 公民館は営利目的にも使えるように規制を緩めたり、利用を促すソフトを展開することで、祭りや日中の年配層の利用以外にも使われる場にできるとよい。

利便性

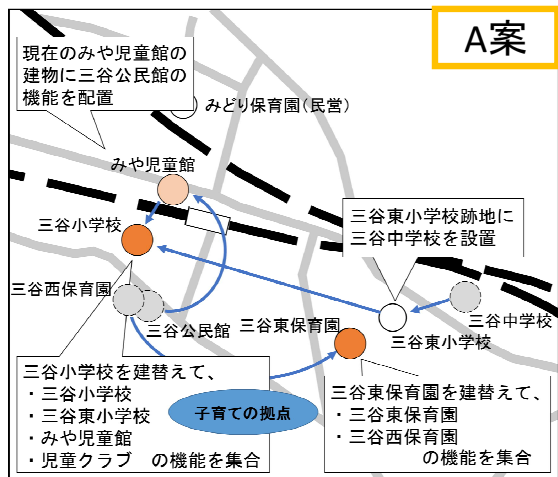
ワークショップで期待の集まったプラン

ワークショップでは、子育て環境の充実から地区のまとまり、防災・防犯まで幅広く地区の将来について話し合われました。市内でも特に児童数が減少していることから、学校規模や配置について大きな関心が集まりました。学校の規模を維持していくため、三谷小学校敷地に2つの小学校を集めるA案・A1案・A2案(下記)について期待するご意見が多く集まりました。また、2つの小学校をそれぞれ残すD案や、三谷東小学校敷地に2つの小学校を集めるB案(最終面)について期待するご意見もありました。

A案・A1案・A2案 子どもに関わる機能を集めて子どもが育ちやすい環境を整えるプラン

〈ご意見が集まった理由〉

- 近い将来三谷小学校が全学年1クラスになることが見込まれるため、学校規模の維持、公共施設の維持管理にかかるコスト削減の観点から地区内の小学校の統合もやむを得ない。
- 通学の負担が少なく、地区の中心部にある三谷小学校敷地に小学校を整備するほうがよい。



A案

〈概要〉

- 三谷小学校の敷地に2つの小学校、児童館、児童クラブの機能を集め、子育ての拠点をつくります。
- 三谷東保育園の敷地に2つの保育園の機能を集合させます。
- みや児童館の建物を改装し、公民館の機能を設置します。
- 三谷東小学校の跡地に中学校を移転します。

〈いただいたご意見〉

- 今後子どもの数が増えないのであれば学校を統合する必要がある。三谷地区の中心に子どもを集めることで、地域の一体感と伝統を守ることもつながると思う。
- 三谷小学校の敷地に小学校を統合した方が、多くの子どもにとって通学するのが便利になる。



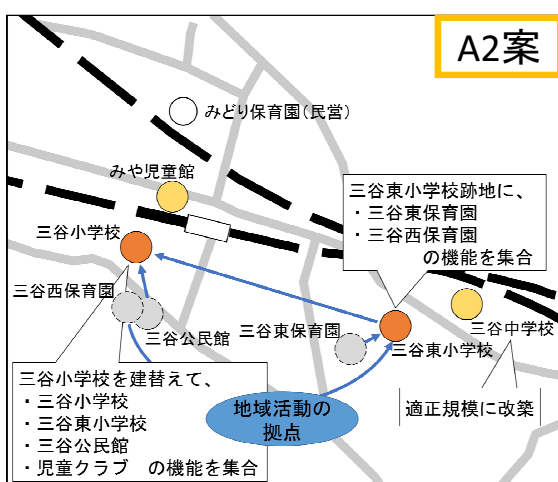
A1案

〈概要〉

- 三谷小学校の敷地に、2つの小学校、公民館、児童クラブの機能を集め、地域活動の拠点をつくります。
- 三谷東小学校の敷地に中学校と2つの保育園の機能を集合させます。
- みや児童館は現地で維持していきます。

〈いただいたご意見〉

- 高台にある三谷東小学校に保育園を統合すると防災面で安心だ。
- 三谷東小学校跡地ならば、機能を集めても駐車場を整備できるだけの余裕があり、周辺の交通環境がよいので送迎も便利になるのがよい。



A2案

〈概要〉

- 三谷小学校の敷地に、2つの小学校、公民館、児童クラブの機能を集め地域活動の拠点をつくります。
- 三谷東小学校の跡地に2つの保育園の機能を集合させます。
- 三谷中学校及びみや児童館は現地で維持していきます。

〈いただいたご意見〉

- コスト削減の観点やいじめ対策の面から考え、小学校は統合すべきだと思う。
- 三谷中学校を今のままの場所で残せる点が良い。中学校はグラウンドが広く、高台にあるので避難所として適している。
- 2つの保育園だけを集めるのには三谷東小学校の敷地は広すぎるという意見もあるが、広い敷地を利用して充実した駐車場と園舎、園庭を整備できれば子育て世代にとって魅力あるものになるのではないかな。

D案全般：2つの小学校を残し、通学のアクセスを維持するプラン

〈概要〉

- 三谷小学校、三谷東小学校を現地に残します。
- 公民館・保育園などのその他の施設は、現地で存続、もしくは小学校や三谷東保育園の敷地を活用し、他の機能との集合を行います。

〈いただいたご意見〉

- 将来的に小学校を統合しなくてはならないのは理解しているが、現状では受け入れられないのではないかと。保護者や住民の間に危機感が広まるまでは2つの小学校を維持した方がよい。
- 将来的な小学校の統合に向けたステップという位置付けで、当面は2つの小学校を維持しつつ、緊急性の高い三谷西保育園の移転などを先に進めてほしい。
- 学校を統合せず、少人数の方が、子ども達を丁寧に見られるので、教育上よいのではないかと。

B案：使いやすく充実した地域活動と保育の拠点をつくるプラン

〈概要〉

- 三谷小学校の跡地に、2つの保育園、児童館、公民館の機能を集め、広い敷地で使いやすい地域活動と保育の拠点をつくりたい。
- 三谷東小学校敷地に2つの小学校を集めます。

〈いただいたご意見〉

- 三谷地区の中心に近い三谷小学校の敷地に子育てに関連する機能が集合することで、子育て世代にとって便利な町になる。
- 三谷小学校より敷地が広い三谷東小学校の方が、広いグラウンドが確保できてよい。
- 三谷東小学校よりも児童数が少ない三谷小学校が移転する方が、スムーズに事業が進められるのではないだろうか。

再配置を考えるうえで配慮すること

第5回ワークショップでは、再配置案の絞り込みを行うとともに公共施設の再配置を考える際に配慮してほしいことや、今後市に検討してほしいことについてもご意見をいただきました。

学校について

- 小学校統合を行うのなら、それに向けたプロセスが重要だ。性急すぎると反発が生まれてかえって事業が進まなくなるので、合意形成に時間をかける必要があると思う。
- 3年後までの児童数の推移を見ると小学校の統合は既に避けられない問題になっていると思う。判断を先送りせず、児童数の基準などを検討したうえで、統合の目標年次を定めて進める必要があるのではないかと。

防犯

- 学校と他機能を集合する際は、学校への不審者の侵入を防ぐなどの防犯対策がしっかりできるように管理責任の明確化や施設配置の工夫をしてほしい。

防災

- 防災対策として三谷西保育園は早い段階で移転すべきだろう。

その他

- A案、A1案、A2案は通学する子どもの利便性、B案は子育て世代の利便性に配慮した案だと思う。いずれも重要な視点なので、どちらを取るかは市に委ねる。
- 将来の三谷地区をどうしていきたいのかという上位のコンセプトが必要だ。再編によってコストを抑えるだけでなく、子どもが増えるまちづくり、地域に新しい魅力を生む再編という発想がほしい。

皆さまからいただいたご意見を参考にして市は「地区個別計画」を策定します。

ワークショップに参加された方をはじめ、オープンハウス（パネル展示型説明会）でアンケートにご協力くださった方など、多くの方から貴重なご意見をいただきました。ご協力いただき、まことにありがとうございました。

これまで皆さまからいただいた様々なご意見を参考にして、市はさらに検討を行い、将来の三谷地区の公共施設の配置や活用方法を定める「地区個別計画」を策定します。

〈ワークショップに参加してくださった方の感想〉

- ここまで三谷地区の児童生徒数が減っているという現実を知っただけでもよい機会でした。多くの三谷の住民に現実を知ってもらって三谷地区の将来像を話し合うのが一番重要。三谷地区の何年後かあり方をしっかり示すビジョンも必要だと思う。
- 子どもの将来について、公共施設のあり方を目的に良い議論ができました。
- より住みやすく、安全な町となっていってほしいと思います。
- ワークショップをやったということだけで、意見が参考になっていないということがないようにしてほしいです。

ご意見募集

- ワークショップで検討されてきた内容について
 - 三谷地区のまちづくりや公共施設について
- 右の「お問い合わせ先」まで、メール・ファクス・郵便・持参により、ご意見をお届けください。
差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

お問い合わせ先

蒲郡市総務部 公共施設マネジメント課
〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
TEL 0533-66-1214
FAX 0533-66-1183
E-mail k-mane@city.gamagori.lg.jp



ワークショップでのご意見や資料等は、市ホームページに掲載しています。